

## 目標達成計画

作成日：平成 24年 1月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	創立以来の理念ではあるが、地域や利用者のニーズ、事業所の状況の変化を考慮し理念を見直す事も必要かと思われる。	「笑顔」～笑い声のあふれる日々。「個」～あなたらしく、私らしく生きる。「和」～お互いの思いやりを持って共に暮らす。～をスローガンとして、理念を基に理念の枝葉をひろげる。	集団で暮らす良さを活かし、楽しめる雰囲気作りを心掛ける。一人一人の今までの生活リズムに合わせたケアを心掛ける。家族、利用者、職員が交流をもち、お互いを温かく見守る関係作りに励む。	6ヶ月
2	4	運営推進会議において、広く意見を聞いたり、外部に情報提供するために複数の参加者の出席を企画してはどうか。	「地域の婦人会、敬老会、警察署……」に声を掛けて広くひいらぎを知ってもらう。	2ヶ月に1回の開催ではあるが、多方面に声かけをし、一度の参加でも良いので願います。	6ヶ月
3	35	利用者の特性や民家改修型であることを考え、日常的な避難誘導を検討する。	日常生活の中にも避難誘導を取り入れる。	日頃の生活の中で、避難所まで散歩したり、ひいらぎ内の避難経路を歩いたりして、避難するときの状況の変化にも対応できるようにする。	6ヶ月
		。			

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。